

平成 29 年度 新宿区鍼灸師会主催

「第 3 期障がい者スポーツトレーナー認定講習会」開催のお知らせ

現在、新宿区鍼灸師会は、2020 パラリンピックを目指して障がい者スポーツのボランティアを行っています。今後、活動の現場が拡大するにあたりともに行動する人材が足りません。より多くのスタッフで活動をシェアするために、安全を意識してチームワークを大切にすることを募集いたします。

このための講習会を催します。スポーツ選手を施術するテクニックを学ぶだけではなく、日常の臨床でよく出会う運動器障害の具体的な講習と実地研修を合わせたより現実的な内容です。3年後のパラリンピックをともに目指しましょう。

講習会骨子

- ・座学年 3 回【①解剖学：河野俊彦先生、②「評価とアプローチ」紀平晃功先生（東医研）、「経穴局所解剖学」上原明仁先生（東医研）】
- ・4 人定員制テーピング講習会
- ・少人数定員制「現場の実技のコツ」：古海博子先生
- ・実地研修
- ① JWBF 日本車椅子バスケットボール連盟の大会（東京 および関東圏一部神戸）
- ② JBMA 日本盲人マラソン協会：神宮外苑ロードレース および月例走行会（代々木公園）
- ③新宿シティーハーフマラソン（健常者および障がい者）年間 30 タイトル以上です。

◇現場の施術について：鍼灸の施術の可否（例えば可の場合 - 施術法、刺激量。否の場合：医療機関（救急搬送も含む）までに処置、申し送りなど）、マッサージ、アイシング、テーピング等はチームとして全員が同じ判断や対応ができることを目的に研修いたします。

◇独自のフォロー：認定講習の座学をやむをえず欠席の場合はビデオ講習を代講とします。

◇鍼灸、マッサージなど「現場の施術のコツ」は特別講師：古海博子先生、またテーピング実習などともに最小の定員制とし、膝詰めでの技術の伝承を行っています。

◇年 2 回のボランティア参加でも結構です。チームとして活動をシェアしていきます。

具体的な内容は新宿区鍼灸師会（新宿支部）のホームページでご確認ください

■具体的な内容は新宿区鍼灸師会（新宿支部）のホームページでご確認ください（注意：現在スマホサイト増設と HP を大工事中。5 月下旬までにはアップ予定です）

■お問い合わせ

できるだけメールで：foochi@sorama.com

☎ 03-3367-8566 井坂卓司まで

■下段に「認定講習生の声」を掲載しています。

「新宿区鍼灸師会主催：障がい者スポーツトレーナー認定講習生の声」

新宿区鍼灸師会では、多くの方に鍼灸の良さを知ってもらうためにさまざまな活動をしています。その中の一番大きな活動が、車椅子バスケットやマラソンなどスポーツ現場でのボディコンディショニングです。選手のみならず、大会関係者の皆さんや選手の家族の方々、偶然通りかかった観客の人まで多くの人に広く鍼灸体験をしてもらってきました。

その活動は「鍼灸を広める」だけに収まらず、新米鍼灸師に先輩の後姿を見せて学ばせ、また経験を積ませるといいう場にもなっています。

私が資格を取得したのが 2 年前になります。当時は、資格を取得したものの何一つ自分の身につけていない不安から、何を見ても自分に必要な知識だと思いたくさん勉強会に出ていました。ただ闇雲に学んだ知識は、なかなか活躍の場がありませんでした。

スポーツの現場では、その時その場で対応する応用力が必要となってきます。「一言で肩が痛いでも、なぜその痛みが出たのか考える」「局所だけではなく全体を見る」先輩方が患部とは違うポイントに治療を入れて、痛みを取る魔法をたくさん見てきました。そして、時間のあるときに「なぜそうなるか？」を丁寧に教えてくれます。臨床と講義が一体となった、新米には贅沢すぎる学びの場です。

介護が必要な祖母と小学生の子どもを持ったシングルマザーという厳しい立場です。マラソンのスタートと同時に子どもを向かえに飛び出したり、2 日間ある大会の 1 日だけ参加したり、十分に参加できる機会は多くありません。それでもやる気があるならと快く受け入れてくれることに感謝し、これからも学んでいきたいと思っています。

渋谷 美和（新卒会員）